

船舶事故等調査報告書

平成23年3月31日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010那第54号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成22年7月25日（日） 10時30分ごろ	
発生場所	沖縄県石垣市御神埼灯台から真方位072° 950m付近 (概位 北緯24° 27.3′ 東経124° 5.2′)	
事故等調査の経過	平成22年9月8日、本事故の調査を担当する主管調査官（那覇事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	ダイビング船 ラ・メール、15トン	
船舶番号、船舶所有者等	290-57477 沖縄、株式会社アイ・ティー・ティー	
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士	
死傷者等	なし	
損傷	船底に擦過傷	
事故等の経過	<p>本船は、船長が単独で乗り組み、ダイビング客及びシュノーケリング客17人を乗せ、石垣港を発し、御神埼灯台北方のダイビングポイントで錨泊してダイビングを開始した。</p> <p>時間の経過とともに、南西の風が東の風へと変化し、平成22年7月25日10時30分ごろ、船底が浅瀬に接触した。</p> <p>本船は、のちに自力離礁し、浸水がなかったため、自力で石垣港へ入港した。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 東、風力 2、視界 良好</p> <p>海象：潮汐 下げ潮の中央期、海面 平穏</p>	
その他の事項	<p>本船は、船首尾ともに約1.00mの喫水であった。</p> <p>本船は、離礁後、船長が船底調査を行ったところ、船底に擦過傷が発見された。</p>	
分析	乗組員等の関与	あり
	船体・機関等の関与	なし
	気象・海象の関与	あり
	判明した事項の解析	本船は、御神埼灯台北方のダイビングポイントで錨泊中、風向の変化に応じて錨索長を調整するなどの守錨方法が適切でなかった可能性があると考えられる。
原因	本事故は、本船が、御神埼灯台北方のダイビングポイントで錨泊中、守錨方法が適切でなかったため、浅瀬に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。	